



青森県感染症発生情報 (2019年第2週)

I 第2週の発生動向 (2019/1/7~2019/1/13)

1. インフルエンザについては、三戸地方+八戸市保健所管内、五所川原保健所管内、むつ保健所管内で**注意報**が発令されました。上十三保健所管内では**注意報**が継続しており、定点当たり報告数が29.22となり、警報開始基準値(30)に近づいています。
2. 伝染性紅斑については、上十三保健所管内で定点当たり報告数が1.83となり、警報開始基準値(2)に近づいています。
3. 突発性発しんについては、県全体の定点当たり報告数が過去5年間の同時期と比較してやや多い状態です。
4. 感染性胃腸炎(ロタウイルス)については、県全体の定点当たり報告数が過去5年間の同時期と比較してやや多く、むつ保健所管内で定点当たり報告数が前週の1.00から4.00に増加しています。

II 第2週五類感染症定点把握

※記載データは、速報値です。

青森県内の保健所管内、定点(医療機関)数、警報・注意報については青森県の感染症発生状況TOPページをご覧ください。

		東青 (東地方+ 青森市保健所)		中南 (弘前保健所)		三八 (三戸地方+ 八戸市保健所)		西北 (五所川原保健所)		上北 (上十三保健所)		下北 (むつ保健所)		青森県計		前週からの増減
		数	人/定点	数	人/定点	数	人/定点	数	人/定点	数	人/定点	数	人/定点	数	人/定点	
小児科	インフルエンザ	101	7.77	113	7.53	168	11.20	77	11.00	263	29.22	87	14.50	809	12.45	375
小児科	RSウイルス感染症	4	0.50	2	0.22	1	0.10	5	1.00	1	0.17			13	0.31	2
	咽頭結膜熱			1	0.11	4	0.40	7	1.40					12	0.29	-3
	A群溶血性レン球菌咽頭炎	11	1.38	5	0.56	15	1.50	2	0.40	26	4.33	9	2.25	68	1.62	50
	感染性胃腸炎	44	5.50	28	3.11	83	8.30	31	6.20	28	4.67	26	6.50	240	5.71	163
	水痘	5	0.63			7	0.70	1	0.20	2	0.33			15	0.36	6
	手足口病									2	0.33			2	0.05	0
	伝染性紅斑			1	0.11	2	0.20	1	0.20	11	1.83	3	0.75	18	0.43	10
	突発性発しん	4	0.50	4	0.44	5	0.50			6	1.00	3	0.75	22	0.52	8
	ヘルパンギーナ															0
流行性耳下腺炎			2	0.22	4	0.40			1	0.17			7	0.17	2	
眼科	急性出血性結膜炎			1	0.33									1	0.09	0
	流行性角結膜炎	1	0.50			2	1.00							3	0.27	-3
基幹	感染性胃腸炎(ロタウイルス)											4	4.00	4	0.67	2
	クラミジア肺炎															0
	細菌性髄膜炎															0
	マイコプラズマ肺炎			1	1.00							2	2.00	3	0.50	1
	無菌性髄膜炎															0

は警報、は注意報。「空欄」: 患者報告無し。

感染症の窓

伝染性紅斑 (五類定点把握対象疾患)

伝染性紅斑の定点当たり報告数は、全国と同様に青森県でも10月ごろから増加しています(図)。都道府県別では、2018年第52週で定点当たり報告数が最も多いのは宮城県(4.56)、次いで新潟県(2.07)となっており、東北・北陸地方のほか、首都圏での報告が多い状況です。

伝染性紅斑は、両頬がリンゴのように赤くなることから、「リンゴ病」とも呼ばれています。幼少児(2~12歳)に多く、乳児、成人が罹患することもあります。頬に境界鮮明な紅い発疹がみられ、続いて手・足に網目状・レース状・環状などと表現される発疹がみられます。発疹が現れたときにはウイルスの排泄は低下し、感染力はほぼ消失しています。

咳やくしゃみなどによる飛沫又は接触により感染するため、手洗いを励行するなどの感染予防を心がけましょう。妊婦に感染すると、胎児水腫や流産の可能性がありますので、風邪のような症状の方に近づかない、流行時期には人混みを避けるなどの注意が必要です。

○詳しい情報はこちらをご覧ください

☞ [伝染性紅斑\(国立感染症研究所HP\)](#)

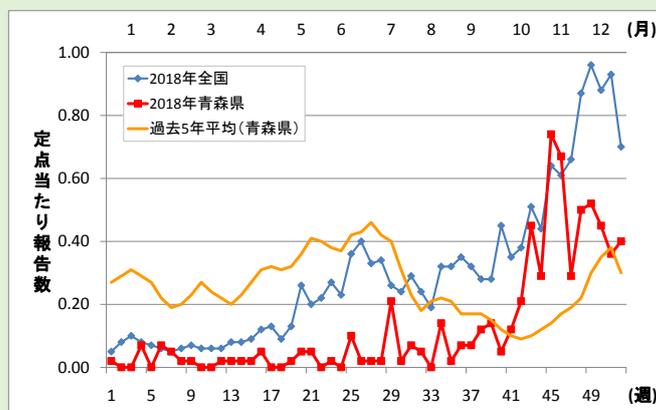


図: 青森県及び全国における伝染性紅斑定点当たり報告数推移(2018年)

伝染性紅斑とは 🔍



Ⅲ 全数把握対象疾患

・結核（二類全数把握対象疾患）：弘前6人

（2019年計：7人）

Ⅳ 病原体検出情報

報告はありませんでした。

Ⅴ 県内インフルエンザ情報（2018年第47週～2019年第2週）

・第2週の患者報告数は809人で、このうち迅速診断キットによる型別が報告されているのは788人

【A型：786人、B型：3人、（三戸地方+八戸市保健所管内のA型及びB型陽性1人はA型とB型に重複計上）】でした。

保健所管内別報告数（人）

週	47	48	49	50	51	52	1	2
保健所名								
東地方+青森市	39	45	47	32	51	46	67	101
弘前	21	35	25	35	30	44	76	113
三戸地方+八戸市	4	4	8	12	12	31	58	168
五所川原	3	4	18	15	14	23	61	77
上十三	10	22	10	17	24	54	121	263
むつ		1		1	1	22	51	87
合計	77	111	108	112	132	220	434	809

A型（迅速診断キットによる型別）(人)

週	47	48	49	50	51	52	1	2
保健所名								
東地方+青森市	38	45	47	32	51	46	65	100
弘前	21	34	25	35	30	44	76	112
三戸地方+八戸市	4	4	8	12	12	28	58	163
五所川原	3	4	17	15	14	23	61	77
上十三	9	22	10	17	24	54	114	253
むつ		1		1	1	20	49	81
合計	75	110	107	112	132	215	423	786

B型（迅速診断キットによる型別）(人)

週	47	48	49	50	51	52	1	2
保健所名								
東地方+青森市							2	
弘前		1						1
三戸地方+八戸市								2
五所川原			1					
上十三							2	
むつ								
合計	0	1	1	0	0	0	4	3

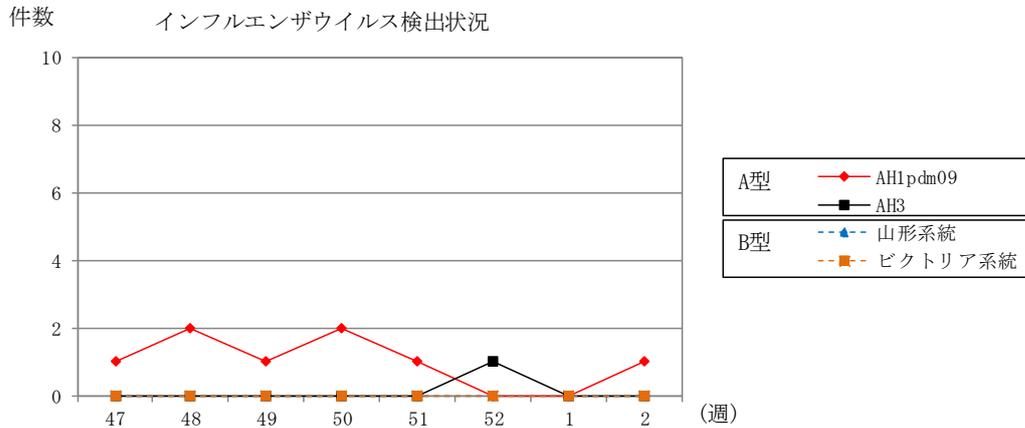
年齢区分別(人)

週	47	48	49	50	51	52	1	2
年齢区分								
～5ヶ月			2		1	1	1	3
～11ヶ月	2	2	3	3		2	3	13
1歳	2	5	11	5	5	2	14	35
2歳	2	4	10	3	8	3	13	26
3歳	8	10	6	10	5	5	12	30
4歳	7	12	4	13	5	4	7	28
5歳	3	9	4	3	8	9	11	38
6歳	8	9	6	7	9	10	7	23
7歳	6	7	8	9	11	10	9	19
8歳	7	5	6	5	11	9	3	17
9歳	8	8	4	9	8	10	6	9
10～14歳	18	18	21	17	22	27	28	74
15～19歳	3	3	4	1	3	10	31	26
20～29歳		1	3	5		29	74	87
30～39歳	3	10	7	5	9	26	58	76
40～49歳		2		3	7	23	67	66
50～59歳		2	2	3	10	11	28	80
60～69歳		3	3	7	2	17	31	68
70～79歳		1	3	3	8	7	15	44
80歳以上			1	1		5	16	47

VI 県内インフルエンザウイルス検出状況（県が指定した医療機関（指定提出機関）の提出検体の検出数）

インフルエンザウイルス	2018						2019		直近5週間 合計	2018/2019 シーズン 合計
	47週	48週	49週	50週	51週	52週	1週	2週		
提出検体数	1	2	2	2	1	1	0	1	5	14
A型										
AH1pdm09	1	2	1	2	1			1	4	12
AH3						1			1	1
B型										
山形系統									0	0
ビクトリア系統									0	0
合計	1	2	1	2	1	1	0	1	5	13

注) 2018/2019シーズンは2018年第36週（9/3～9/9）～2019年第35週（8/26～9/1）



VII 保健所管内別全数把握対象疾患発生状況（2018年第51週～2019年第2週）

週	東青 (東地方保健所+ 青森市保健所)	中南 (弘前保健所)	三八 (三戸地方保健所+ 八戸市保健所)	西北 (五所川原保健所)	上北 (上十三保健所)	下北 (むつ保健所)
51			レジオネラ症1人 侵襲性肺炎球菌感 染症1人 バンコマイシン耐性 腸球菌感染症1人	梅毒2人		百日咳3人
52	梅毒1人		梅毒1人			
1		侵襲性肺炎球菌感 染症1人	侵襲性肺炎球菌感 染症1人			
2						

- ・第51週に八戸市保健所管内でバンコマイシン耐性腸球菌感染症1人の届出がありましたので追加しました。
- ・第1週に八戸市保健所管内で侵襲性肺炎球菌感染症1人の届出がありましたので追加しました。

VIII 結核(二類全数把握対象疾患)（2018年第51週～2019年第2週） (人)

週	東青 (東地方保健所+ 青森市保健所)	中南 (弘前保健所)	三八 (三戸地方保健所+ 八戸市保健所)	西北 (五所川原保健所)	上北 (上十三保健所)	下北 (むつ保健所)
51			1	2	2	
52		3			1	1
1		1				
2		6				

- ・第51週に三戸地方保健所管内で結核1人の届出がありましたので追加しました。

Ⅷ 全数把握対象疾患発生状況（全国-青森県）（注：発生状況は速報値であり、国内で届出のあった疾患のみを掲載しています）

全国（2019年第1週の累計）

分類	二類	三類	三類	三類	四類	四類	四類	四類	四類	四類
疾病名	結核	細菌性赤痢	腸管出血性大腸菌感染症	腸チフス	E型肝炎	A型肝炎	つつが虫病	デング熱	マラリア	レジオネラ症
累積報告数	73	1	8	1	1	6	8	3	2	20

分類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類
疾病名	アメーバ赤痢	ウイルス性肝炎	カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症	急性脳炎	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	後天性免疫不全症候群	侵襲性インフルエンザ菌感染症	侵襲性髄膜炎菌感染症	侵襲性肺炎球菌感染症	水痘（入院例）
累積報告数	3	1	7	9	6	1	4	2	45	5

分類	五類	五類	五類	五類	五類
疾病名	梅毒	播種性クリプトコックス症	百日咳	風しん	麻しん
累積報告数	6	2	61	45	8

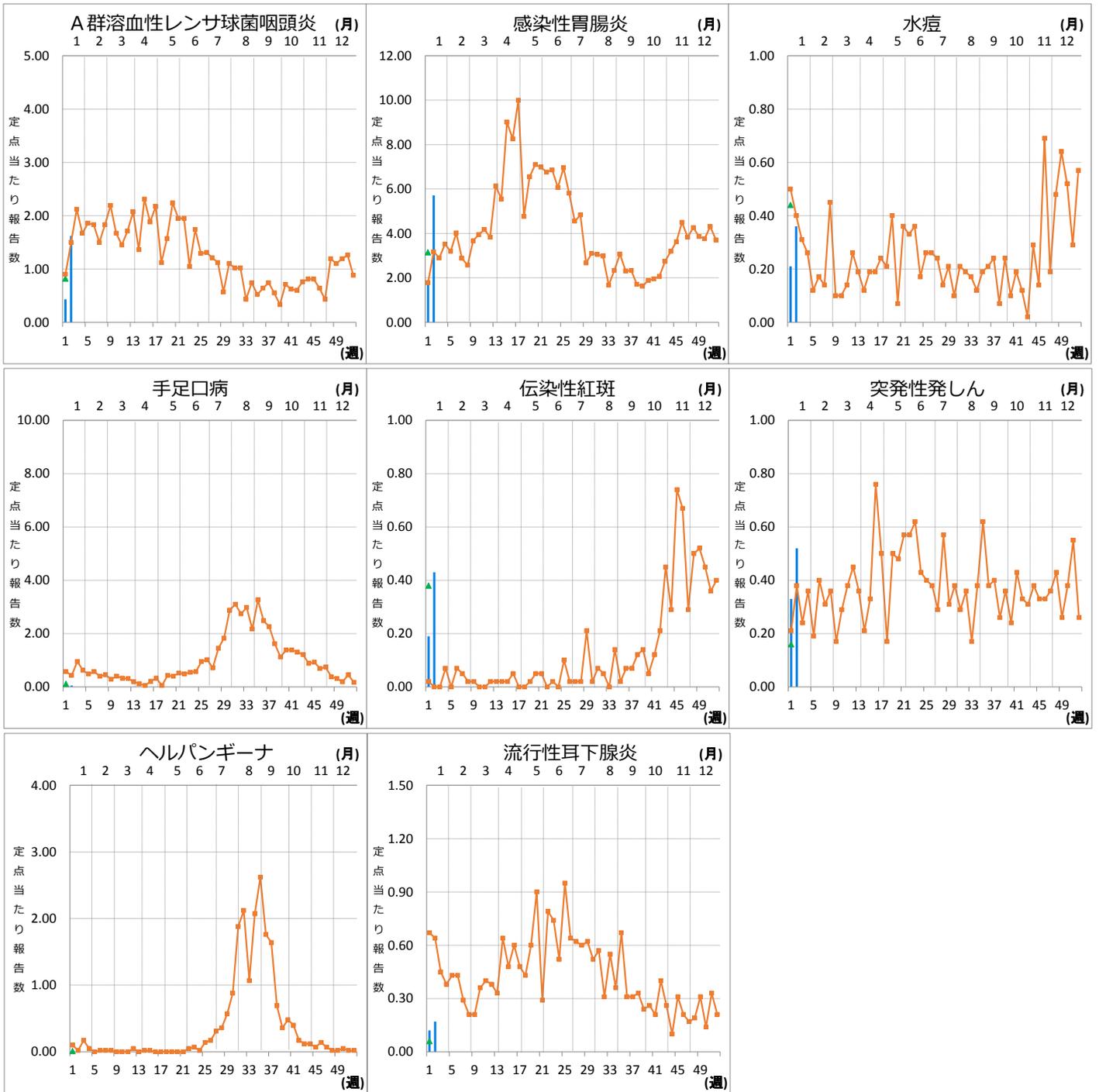
青森県（2019年第1週～2019年第2週までの累計）

分類	二類	五類
疾病名	結核	侵襲性肺炎球菌感染症
累積報告数	7	2

Ⅹ インフルエンザ・小児科定点把握対象疾患週別推移（2019年第2週、ただし全国は前週）

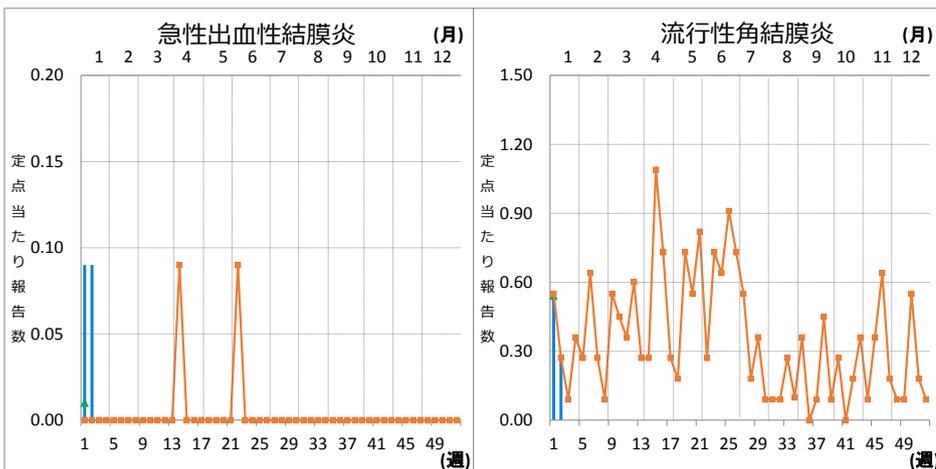
グラフの説明 ■は2019年青森県、■は2018年青森県、▲は2019年全国





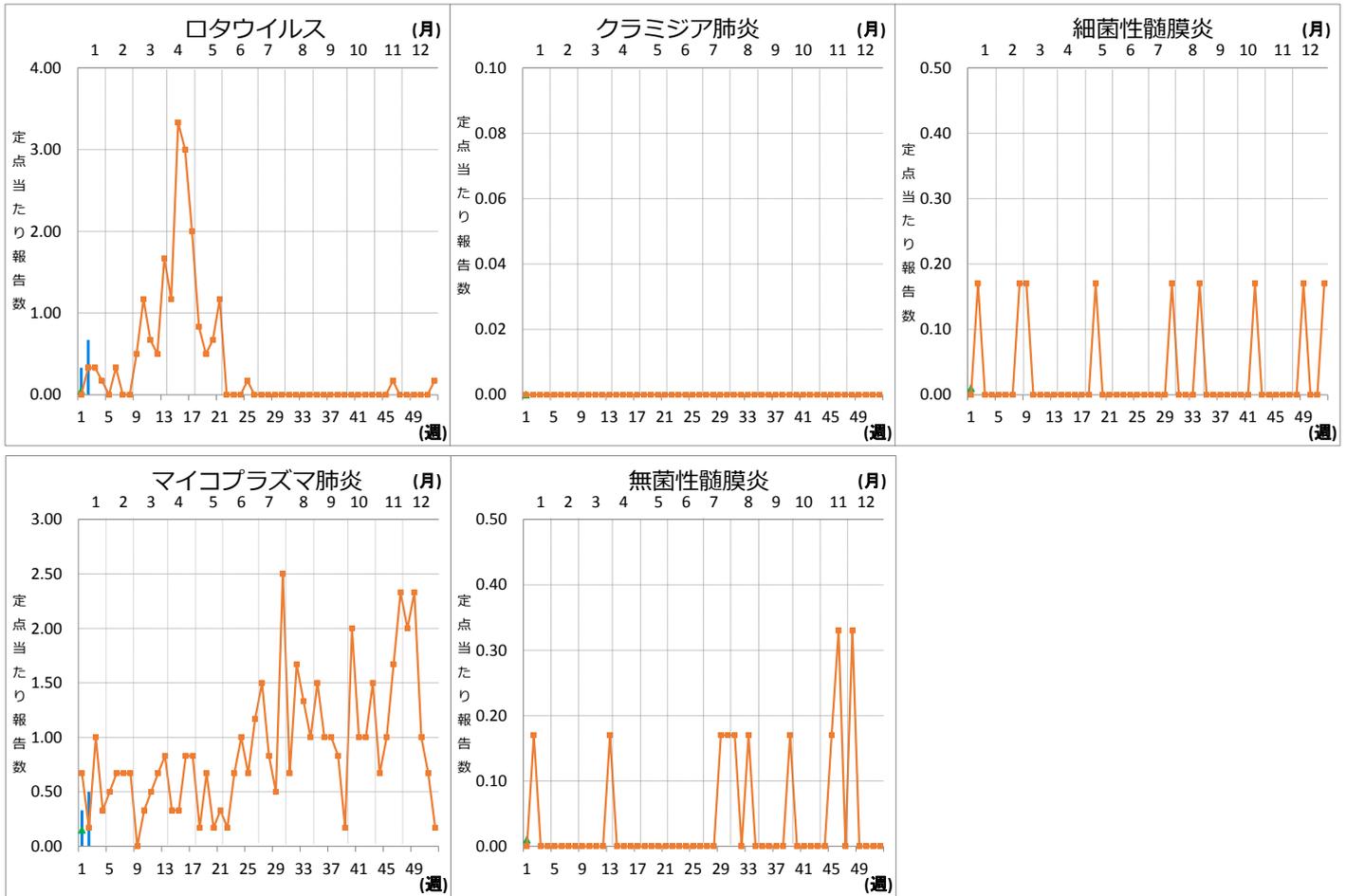
XI 眼科定点把握対象疾患週別推移 (2019年第2週、ただし全国は前週)

グラフの説明 —は2019年青森県、■—■は2018年青森県、▲—▲は2019年全国



XII 基幹定点把握対象疾患週別推移（2019年第2週、ただし全国は前週）

グラフの説明 —は2019年青森県、■—■は2018年青森県、▲—▲は2019年全国



XIII 社会福祉施設等における感染性胃腸炎（疑い含む）の発生状況

「社会福祉施設等における感染症等発生時に係る報告について」（平成18年2月22日付け厚生労働省健康局長、医薬食品局長、雇用均等・児童家庭局長、社会・援護局長通知）に基づく、青森県内の社会福祉施設等における感染性胃腸炎（疑いを含む）の報告件数及び発症者数は次のとおりです。

2019年第2週

報告週 (第1報)	施設種別	発症者数	管轄保健所
第2週	児童・婦人関係施設等	11	八戸市保健所
第2週	児童・婦人関係施設等	17	上十三保健所
第2週	児童・婦人関係施設等	22	東地方保健所

2019年報告件数及び発症者数

施設種別	月(週)	1月		計 (施設別)
		1週	2週	
介護・老人福祉関係施設	件数	0	0	0
	発症者数	0	0	0
児童・婦人関係施設等	件数	0	3	3
	発症者数	0	50	50
障害関係施設	件数	0	0	0
	発症者数	0	0	0
その他施設	件数	0	0	0
	発症者数	0	0	0
計(月別)	件数	0	3	3
	発症者数	0	50	50